

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【公開番号】特開2011-104076(P2011-104076A)

【公開日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2009-261607(P2009-261607)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月22日(2013.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機の前面側に開閉可能な遊技枠と、遊技領域を形成した遊技盤と、を備え、前記遊技領域に設けた所定の始動入賞領域を遊技球が通過すると、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームが実行され、該変動表示ゲームの結果に対応して遊技者に特典を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

前記遊技領域における遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

前記遊技盤及び前記遊技枠に設けられて、遊技の演出を行う複数の演出装置と、

前記遊技制御手段からの指令に対応して、前記複数の演出装置を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出装置の系統の各々を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設け、

前記演出制御手段を、前記グループ単位制御手段の各々を統括的に制御するグループ統括制御手段として構成するとともに、

前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、

前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でデータを授受するデータ線と、

を備えることにより前記グループ統括制御手段と前記各グループ単位制御手段との間で相互にデータ送信を可能とし、

前記グループ統括制御手段は、

前記データ線の信号レベルを送信データに対応する信号レベルに設定しながら前記タイミング信号線の信号レベルを繰り返し変化させることで、順次前記グループ単位制御手段にデータ送信を行う送信手段と、

前記送信手段によるデータ送信の後に、前記グループ単位制御手段からの返答信号を取り込む返答信号取込手段と、

取り込んだ前記返答信号によりデータ送信の成否を判定する判定手段と、

を備え、

前記グループ単位制御手段は、

前記送信手段がデータ送信を行った前記データ線を介して、前記返答信号を前記グルー

ブ統括制御手段へ出力する返答信号出力手段を備え、

前記送信手段は、

前記演出装置の制御に関わる演算処理を行う演算処理手段と、

前記グループ単位制御手段と接続されて、前記演算処理手段からの指令に基づいて、該グループ単位制御手段との間の前記データ線及びタイミング信号線の各信号レベルを制御する複数の信号レベル制御手段と、

を含んで構成され、

前記複数の信号レベル制御手段には、前記遊技盤に設けたグループ単位制御手段と接続される第1の信号レベル制御手段と、前記遊技枠に設けたグループ単位制御手段と接続される第2の信号レベル制御手段と、が含まれることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記信号レベル制御手段は、前記演算処理手段によって初期化指示データが当該信号レベル制御手段に備わる所定の記憶領域に書き込まれることによって、当該信号レベル制御手段に接続されたグループ単位制御手段を初期化する個別初期化手段、を備え、

前記演算処理手段は、前記複数の信号レベル制御手段から一以上の信号レベル制御手段を選択し、選択された信号レベル制御手段に備わる所定の記憶領域に前記初期化指示データを書き込むことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記グループ統括制御手段は、前記演算処理手段と、前記各信号レベル制御手段との間で、相互にデータを授受するデータバスを備え、

前記信号レベル制御手段は、

当該信号レベル制御手段の初期化を指示する初期化信号が、前記演算処理手段によって前記データバスを介さずに入力される初期化信号入力指示端子と、

当該信号レベル制御手段の初期化を指示する初期化指示情報が、前記演算処理手段によって前記データバスを介して書き込まれる初期化指示情報記憶領域と、

を備え、

前記演算処理手段は、

すべての前記複数の信号レベル制御手段を初期化する場合には、前記各信号レベル制御手段に備わる初期化信号入力指示端子に初期化信号を入力することによって、前記各信号レベル制御手段を初期化し、

特定の前記信号レベル制御手段を選択して初期化する場合には、当該特定の信号レベル制御手段に備わる前記初期化指示情報記憶領域に、前記初期化指示情報を書き込むことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記複数の信号レベル制御手段は、各々が並行して動作可能であることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか一つに記載の遊技機。

【請求項5】

前記遊技盤は、遊技の演出を行う画像出力装置を備え、

前記複数の信号レベル制御手段は、前記画像出力装置に出力される画像を更新するタイミングと同期して、前記各信号レベルを制御することを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一つに記載の遊技機。

【請求項6】

前記演出装置は、前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段を介して送信されたデータに基づいて、当該演出装置の演出態様が更新され、

前記演出装置の演出態様が更新されるタイミングは、当該演出装置を制御するグループ単位制御手段に接続された信号レベル制御手段毎に設定されていることを特徴とする請求項1から請求項5のいずれか一つに記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

特許文献に記載の遊技機は、データ通信のハード構成の自由度が低いという問題もあった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、ハード構成の自由度が低下させない遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、遊技機の前面側に開閉可能な遊技枠と、遊技領域を形成した遊技盤と、を備え、前記遊技領域に設けた所定の始動入賞領域を遊技球が通過すると、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームが実行され、該変動表示ゲームの結果に対応して遊技者に特典を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、前記遊技領域における遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、前記遊技盤及び前記遊技枠に設けられて、遊技の演出を行う複数の演出装置と、前記遊技制御手段からの指令に対応して、前記複数の演出装置を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出装置の系統の各々を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設け、前記演出制御手段を、前記グループ単位制御手段の各々を統括的に制御するグループ統括制御手段として構成するとともに、前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でデータを授受するデータ線と、を備えることにより前記グループ統括制御手段と前記各グループ単位制御手段との間で相互にデータ送信を可能とし、前記グループ統括制御手段は、前記データ線の信号レベルを送信データに対応する信号レベルに設定しながら前記タイミング信号線の信号レベルを繰り返し変化させることで、順次前記グループ単位制御手段にデータ送信を行う送信手段と、前記送信手段によるデータ送信の後に、前記グループ単位制御手段からの返答信号を取

り込む返答信号取込手段と、取り込んだ前記返答信号によりデータ送信の成否を判定する判定手段と、を備え、前記グループ単位制御手段は、前記送信手段がデータ送信を行った前記データ線を介して、前記返答信号を前記グループ統括制御手段へ出力する返答信号出力手段を備え、前記送信手段は、前記演出装置の制御に関わる演算処理を行う演算処理手段と、前記グループ単位制御手段と接続されて、前記演算処理手段からの指令に基づいて、該グループ単位制御手段との間の前記データ線及びタイミング信号線の各信号レベルを制御する複数の信号レベル制御手段と、を含んで構成され、前記複数の信号レベル制御手段には、前記遊技盤に設けたグループ単位制御手段と接続される第1の信号レベル制御手段と、前記遊技枠に設けたグループ単位制御手段と接続される第2の信号レベル制御手段と、が含まれる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明によれば、ハード構成の自由度が低下させない遊技機を提供することができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】